

# 屋外で活動する際の心がけ

高松地方気象台

○屋外で活動する際には、あらかじめ、高松地方気象台が発表している気象情報、雷注意報及び竜巻注意情報の発表の有無を、高松地方気象台のホームページ等で確認しましょう。

○屋外で活動を始める時は、自分のいる場所や天気の様子、いざというときはどこへ逃げれば安全かなどを前もって確認するようにしましょう。

○屋外で活動中は、携帯電話向けの気象情報ページ（アドレスは下記または右のバーコード）を閲覧し、最新の気象状況を確認しましょう。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

（国土交通省防災情報提供センター）



## 局地的大雨に対する身の守り方

○次のようなときは、前もって確認しておいた安全なところへすぐに逃げましょう。

- ・空の状態 →→「急に真っ黒な雲が近づいてきた」、「ゴロゴロと雷が鳴ってきた」「ぴかっと雷の光が見えた」
- ・体での感じ方→「ヒヤッとした冷たい風が吹き出した」、「大粒の雨や氷まじりの雨が降り出した」
- ・川の様子 →→「水かさが増えてきた」、「川の水が濁ってきた」、「木切れや落ち葉が流れてきた」
- ・警報装置 →→「サイレンなどの警報音が聞こえてきた」

○もしもこんな場所にいたら（通過したら）たいへん危険です！

- ・釣りや水遊びのため、川の中
- ・キャンプやバーベキューのため、川原や中洲
- ・まわりより低い道路（アンダーパス）

## 竜巻に対する身の守り方

- 竜巻に対しては、頑丈な建物の中が安全です。
- 次のような場合は、あなたの身に危険が迫っています。前もって確認しておいた安全なところへすぐに逃げましょう。
  - ・ 雲の底から漏斗状の雲が垂れ下がっている
  - ・ ゴーという音がして土ぼこりや木の枝などが空に巻き上げられて回転している
  - ・ 耳がキーンとなった（気圧の変化）
- 避難の時には次のことに注意しましょう。
  - ・ 屋根瓦など飛んでくるものに注意しましょう
  - ・ 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう

なお、屋内では、窓、雨戸を閉め、カーテンをひきましょう。また、窓や壁から離れ、家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。そして、頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。

## 雷に対する身の守り方

- 雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばずに落ちます。
- 近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。
- グランドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどは、人体に直接落雷しやすくなるので特に危険です。
- 雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子があるときは、落雷が差し迫っています。
- できるだけ早く、前もって確認しておいた安全なところへ逃げましょう。

注：保護者・先生方へ

避難の場所としては次のことが雷から身を守るために有効です。

○雷に遭遇した場合は安全な空間へ避難

鉄筋コンクリート建築、自動車（オープンカーは不可）、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。

○安全な空間に避難できない場合の対応

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げ、4m以上離れた範囲（保護範囲）に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。

（雷から身を守るには — 安全対策Q&A — ：日本大気電気学会 から引用）